

このたびはお買い上げいただきありがとうございました。

保管用

当社専用器具本体とLEDユニットの組み合わせで性能を満足します。

LED照明器具

LEDユニット形ベースライト 40形 直付形

品番 LZB-92584XW (トラフタイプ)

据付工事説明書

○施工の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。
○電源周波数 50Hz/60Hz 共用形です。日本全国どこでも使用できます。

※別梱包のLEDユニットの取扱説明書も必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

Table with 2 columns: Prohibitions (禁止) and Warnings (厳守). Prohibitions include: Do not use in flammable atmospheres, high temperatures, or high humidity. Do not use in narrow enclosures. Do not use at voltages other than specified. Warnings include: Do not use in areas with no ceiling reinforcement, or where tools might hit wires. Always use the dedicated tool body and LED unit together. Do not install in raceways.

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

Table with 2 columns: Prohibitions (禁止) and Warnings (厳守). Prohibitions include: Do not use in windy areas, direct sunlight, or outdoors. Do not use in areas with insufficient drying. Do not install in ducts. Do not use with high temperatures. Do not damage the lockout. Warnings include: Do not use in areas with falling objects or rain. Check safety sheets. Have a professional inspection every 3 years.

お知らせ

- 周囲温度は5~35℃の範囲で使用してください。
温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。
器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組み合わせるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。
電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。
天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。

知っておいていただきたいこと

- 商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合があります。
電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがあります。

保証について

- 1. 保証について
この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、「CSセンター」までお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は、照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

異常時の処置

警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。
CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル)
受付時間(月~金曜) 9:00~17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

この説明書は、再生紙を使用しています。

大光電機株式会社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

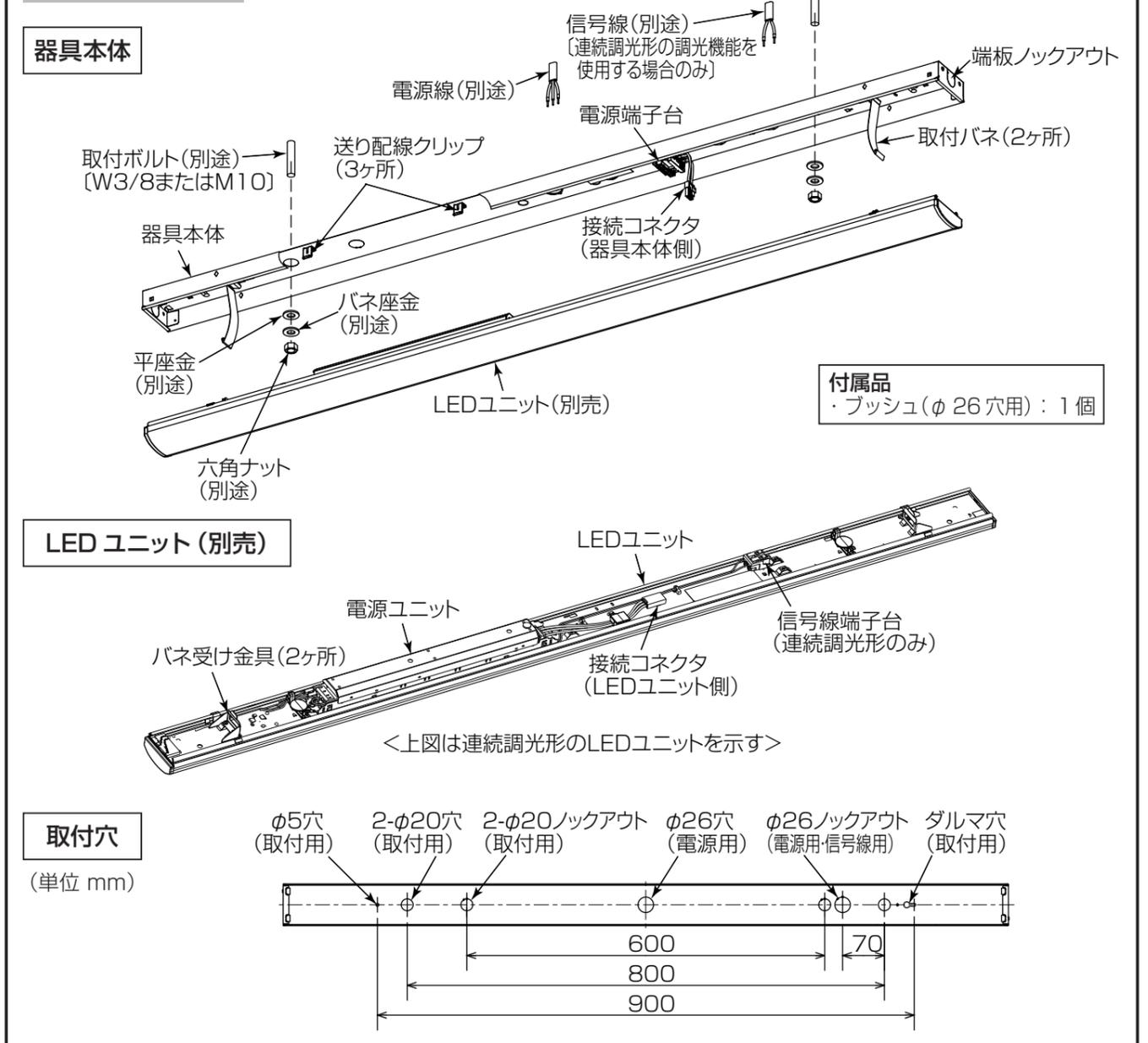
安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、警告、注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

- 絶対に行わないでください。
必ず指示に従って行ってください。

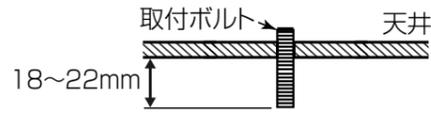
各部のなまえ



各部のなまえと取付けかた **警告** 器具の取付けは据付工事説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

1 取付前の確認

- 器具本体質量 (約0.6kg)、LEDユニット質量 (約1.0kg) 及びLEDユニットの引き下げ力 (60N) の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
 - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
 - ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用し、板厚は 9 mm 以上とする。
- 取付ボルトの長さは、天井面より 18 ~ 22 mm にする。
- 取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。



警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

2 器具本体を取付ける

- (1) 器具本体のプッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。ロックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず器具本体に付属のプッシュを取付ける。
- (2) 連続調光形の調光機能を使用する場合は、ロックアウトの信号線用穴に必ず付属のプッシュを取付け、信号線を引き込む。
- (3) 別途手配の平座金、バネ座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは 1.0 ~ 1.2N・m。

警告
取付けが不完全な場合落下の原因

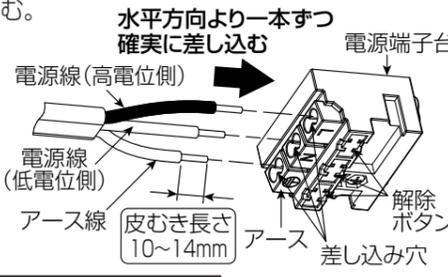
注意
器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する (けがの原因)

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

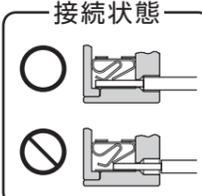
- (1) アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。
- (2) 電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合、火災・感電の原因)

- 適合引込み電源線:
φ 1.6mmVVF 単線
または φ 2.0mmVVF 単線
- 電源線を電源端子台から取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。



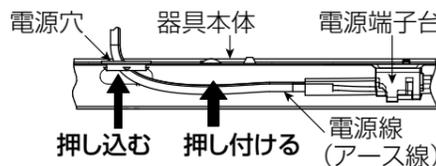
警告
・電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにもむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)
・送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)



- 電源端子台の送り総容量は LED ユニットの明るさタイプで異なります。(右表参照)

| 明るさタイプ | 送り総容量 |
|--------------|-------|
| 6900lm タイプ | 1.2A |
| 5200lm タイプ | 1.4A |
| 4000lm タイプ | 1.6A |
| 3200lm タイプ以下 | 2.0A |

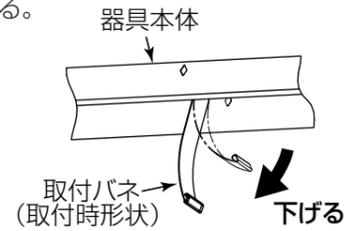
- (3) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線は LED ユニットの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を器具本体に押し付ける。



4 LED ユニットの器具本体に取付ける

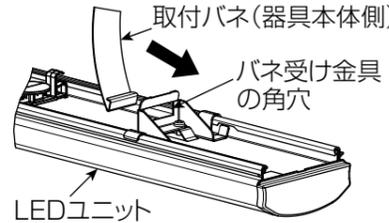
- (1) 器具本体側に LED ユニットの取付バネを下げる。

お願い
取付バネを必要以上に曲げない (取付バネ変形の原因)

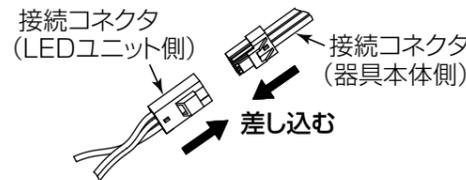


- 取付バネを LED ユニット両側のバネ受け金具の角穴に入れる。

注意
片側のみ取付バネをバネ受け金具の角穴に入れた状態で保持しない (落下の原因)



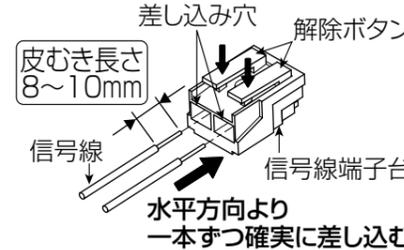
- (2) 器具本体側と LED ユニット側の接続コネクタを接続する。



警告
通電した状態でコネクタの接続をしない (感電の原因)

- (3) 信号線を信号線端子台の差し込み穴に水平方向より一本ずつ確実に差し込む。(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

- 適合引込み信号線:
φ 0.9 mm FCPEV-1P 単線 または φ 1.2 mm FCPEV-1P 単線
- 接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
- 調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。



警告
信号線端子台に電源線を接続しない (過熱して火災の原因)

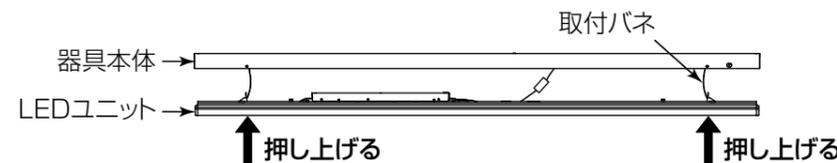
お願い
接続時に LED ユニットに、過度な荷重をかけない (破損の原因)

- 信号線を信号線端子台から取り外すときは、解除ボタンを押す。

- (4) LED ユニットの取付バネを押し上げる。

- LED ユニットの取付バネ近傍を持ち、器具本体側に押し上げる。

警告
接続コネクタ・電源線・信号線・送り配線を挟み込まない (火災・感電の原因)

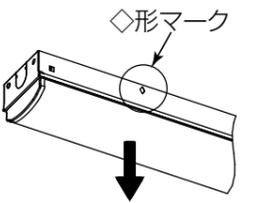


注意
・押し上げ時に器具本体と LED ユニット間に指を入れない (けがの原因)
・LED ユニット取付後、LED ユニットの浮きがないことを確認する (コネクタ等の挟み込みによる感電の原因)

5 LED ユニットの取外しかた

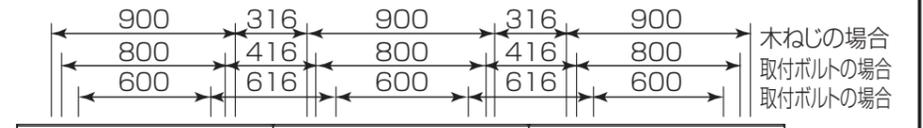
- 器具本体の◇形マークを目印に、LED ユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。

注意
点灯中及び消灯直後の器具本体及びLEDユニットに触らない (高温のためやけどの原因)



6 連続取付の場合

- (1) 取付ピッチを確認する。(単位 mm)

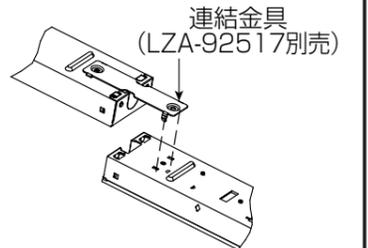


- (2) 器具内送り配線をする場合、器具本体の端部ロックアウトをペンチ等で取外す。

注意
ロックアウト取り外し作業はペンチ等の工具を用いる (けがの原因)

- (3) 連結金具 (LZA-92517 別売) を使用して器具本体を取付ける。

- ①連結金具の爪を本体の連結穴に「カチッ」というまではめ込む。
 - ②連結金具を取付けた本体を天井に取付ける。
 - ③連結する本体を天井面に押し上げ、連結金具の爪を本体の連結穴にはめ込む。
- ※連結数が多い場合 (5 ~ 6 連結以上)

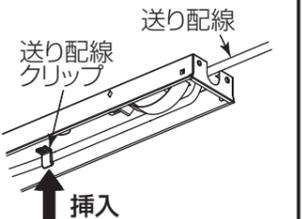


- 本体は器具を連結する方向に引っ張り気味に取付ける。
- 本体と LED ユニットの取付けは中央部から両端に向かって順次取付ける。

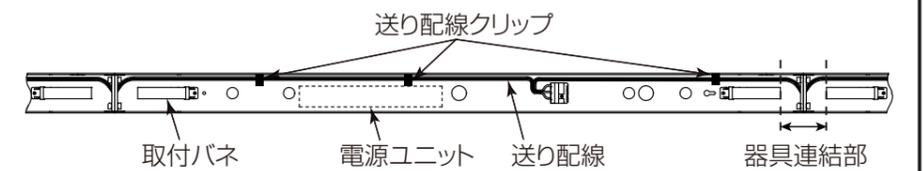
7 器具内送り配線をする場合

- (1) 電源線・信号線はエコケーブルソフトタイプを使用し、器具間を接続する。
適合電源線: φ 1.6EM-EEF
適合信号線: φ 0.9EM-FCPEE-1P

注意
器具内送り配線は端部ロックアウト部分のシースを残して施工する (感電・火災の原因)



- (2) 取付バネ、電源ユニットに触れないように配線し、送り配線クリップに挿入して固定する。



- (3) 信号線を LED ユニットに固定する。(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

- LED ユニットの取付バネ近傍を持ち、器具本体側に押し上げる。

